

令和7年度「長崎っ子の心をみつめる教育週間」

7月7日(月)～11日(金)に「長崎っ子の心をみつめる教育週間」を行い、小学部から高等部までの全ての部の授業を公開しました。

「いのちを輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子の育成を図る」ために、全学級で「命の大切さ」や「挨拶・返事」、「社会のルールやきまり」などについての道徳の授業を行い、命を大切にすることや思いやりの心をもつことを学習しました。また、「GIGA ワークブックながさき」を活用した情報モラル教育では、タブレット端末やスマートフォンの使い方の他、相手を意識したやりとりや情報の共有などについて学習し、みんな熱心に取り組んでいました。



【小学部】

「野母崎おはなし会」のボランティアの方に来ていただき、『お話し会』を実施しました。絵本のよみきかせだけではなく、歌やダンス、寸劇などもあり、心豊かな時間を過ごすことができました。



【中学部】

1年生が高等部の作業学習の見学に、3年生が体験に行きました。高等部の先輩たちの作業をしている様子を見たり、実際に一緒に体験したりすることで高等部へのあこがれや将来について考える学習をすることができました。



【高等部】

生徒会による「あいさつ運動」を行い、朝から明るく元気なかかわりができました。

また、長崎県教育庁体育保健課の方をゲストティーチャーに迎え、『薬物乱用防止教室』を行いました。薬物についての危険性や薬物を勧められたときの断り方などの講義を受け、命を大切にすることを学習しました。



期間中、たくさんの方に来校していただきました。暑い中、ありがとうございました。